

待機児童で相違鮮明

豊見城市長選 予定候補者が討論

【豊見城】12日投票の豊見城市長選挙に向け、立候補を表明している現職の宜保晴毅氏(46)、新人の大城勝永氏(61)を招いた公開討論会が2日、同市のFMとよみのスタジオで開かれた。討論の様子は生放送された。子育て・待機児童問題で議論が白熱し、宜保氏が小規模保育事業や民間事業者の導入を図るのに対し、大城氏は廃止が予定される公立保育所の存続を掲げるなど、手法の違いが表れた。国民健康保険税引き下げの是非や基地問題に対するスタンスで主張が明確に分かれた。

FMとよみ



国保、基地でも違い

豊見城市長選
2014・10・12

都市計画やまちづくりについて、大城氏は「市街地調整区域の土地利用の計画を見直す。災害対策を兼ねた高層住宅の建築」を語った。大城氏(左)、大城勝永氏(61)と、豊見城市のFMとよみ

設 計画的な市道整備などでまちづくりを進めると述べた。宜保氏は「豊崎、宜保地区を市街地として発展させ、新規の道路整備に取り組んできた。新庁舎の高台移転に伴う新たな再開発を考えている」と話した。国保税の見直しについて、宜保氏は「国の制度の疲弊で国保財政は赤字となっており、引き下げはできない。資産割の廃止で負担軽減につなげる」と述べた。大城氏は

「豊見城市の国保税は11 続いている。一般会計から市の中で一番高い状況が、らの予算を回し軽減を図ると話した。

2014年10月5日(日) 琉球新報

宜保・大城両氏 FMで公開討論

経済や福祉政策で論戦

豊見城市長選
2014.10.12



公開討論会に臨む宜保晴毅さん(左)、大城勝永さん(右)。2日、豊見城市豊見城・FMとよみ

【豊見城】12日投票の豊見城市長選を前に、地域FM局のFMとよみ(83・2MHz、安慶名雅明社長)は2日、出馬を予定している現職の宜保晴毅さん(46)と自民、公明推薦、新人の大城勝永さん(61)と社民、社大、公明推薦を招いた公開討論会を開いた。行財政や雇用対策などの政策や、市民への訴えを聞いた。

(2面参照)

宜保さんは「豊見城を日本一楽しく、住みよいまちにしたい」と2期目に意欲を示した上で、観光業発展や大型M

ICJ施設誘致による経済や雇用拡大の可能性を強調。「市の財政再建のため、無駄を排除した政策を採りながら、福祉や子育てを充実させるための財源確保に取り組みたい」と述べた。

大城さんは「市民本位の豊見城市をつくる」と述べ、国保税の引き下げや保育所増設による待機児童の解消などの政策を紹介。大型MICJ施設誘致には「市に負担はさせず、カジノは持っていない」との条件で賛成の意向を示し、「市民や地域の声を聞きながら、公平公正な市政を行いたい」とアピールした。

2014年10月5日(日) 沖縄タイムス